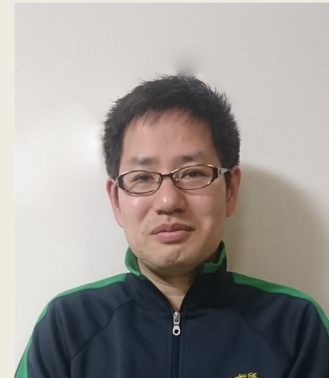


## 細胞外分泌小胞の神経系 情報伝達

講師：河原 裕憲 助教  
金沢大学 医学系 免疫学  
WPI ナノ生命科学研究所

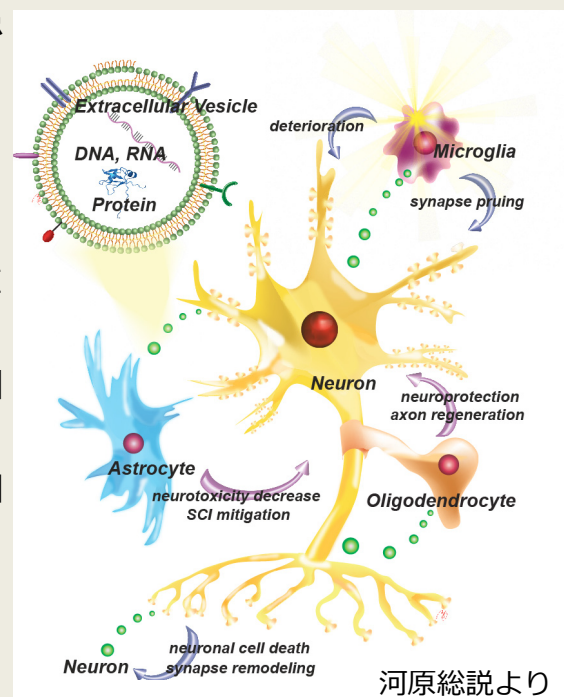


日時：2024年10月18日（金）17:00～  
場所：名古屋市立大学桜山キャンパス  
（脳神経科学研究所 5階 会議室）

本セミナーはZOOMによるオンライン配信は予定しておりません。

エクソソームを含む細胞外分泌小胞（以下、EVs）は、種々の細胞が放出する膜小胞で、EVs中の分子（タンパク質、核酸など）が他細胞に受け渡されることで、様々な細胞間情報伝達を担うことが近年判明し、これらの分子の発現は細胞の状態により大きく異なり疾患の進展と関連すると考えられている。

我々はEVsを介した脳神経系疾患への効果について解析しており（Tsutsui, 2020; Yamaguchi, 2022）、現在はパーキンソン病関連疾患である多系統萎縮症との関係に着目している。多系統萎縮症は $\alpha$ シヌクレインタンパク質が凝集体を形成が主要原因とされる難治性の神経変性疾患であるが、この凝集体の伝播・蓄積メカニズムは未知である。我々は $\alpha$ シヌクレイン伝播に関わる重要な分子を同定し、EVsを介した発病への関与に迫っている。本セミナーでは、この研究を紹介すると共に、EVs研究の現状についても概説したい。



共催：日本学術振興会 研究拠点形成事業「国際ニューロン新生研究拠点（NeuRIC）」

世話人：澤本和延（医学研究科・神経発達・再生医学分野）

TEL: 052-853- 8532, E-mail: sawamoto@med.nagoya-cu.ac.jp